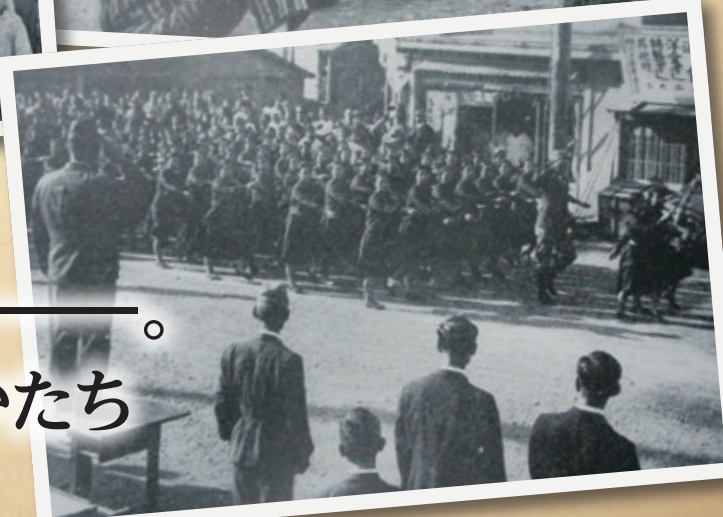


広報

かまいし



特集 艦砲射撃から80年——。
未来へ紡ぐ平和のかたち

釜石にあった連合軍捕虜収容所

釜石には仙台捕虜収容所第 4 分所（大橋）、第 5 分所（釜石）が設置されており、アメリカやイギリス、オランダなどの捕虜達は製鉄所や鉱山での労働に従事していました。彼らのうち 33 人が栄養失調や衰弱、病気により亡くなり、32 人が艦砲射撃によって亡くなっています。写真は第 4 分所（大橋）



偵察に来ていた連合軍

この写真は昭和 20 年 6 月 29 日、当市が受けた 1 回目の艦砲射撃の前にアメリカ軍によって釜石の上空から撮影されたものです。いかに用意周到に計画が練られ、攻撃されたものかが分かります。



▲米国国立公文書館所蔵 米軍撮影空中写真



▲艦砲射撃前の中心市街地

CHAPTER1 ー 廃墟と化した鐵のまち ー

突如奪われた まちの呼吸

「轟然たるひびきが、釜石の街を揺がし、熾烈な砲弾が耳を聳して炸裂するごとに、工場が破壊され、家屋が吹っ飛び、そして尊い人命がみじんになって散った。(中略)釜石は廃墟と化してしまった——。」
(釜石艦砲戦災誌 釜石市長 浜川才治郎（当時）より抜粋)



終戦後の中心市街地
アメリカ戦略爆撃調査艦砲射撃調査班報告書より

艦砲射撃から 80 年——。
未来へ紡ぐ平和のかたち

忘れてはいけない日。7 月 14 日と 8 月 9 日。
釜石は、本州で唯一 2 度の艦砲射撃を受けたまちです。
今回の特集では、戦争を体験した人が減少する中、改めて釜石で起きた艦砲射撃や平和のあり方を振り返り、この出来事を未来へ伝えていくために、私たちに何ができるかを考えます。

被 弾 数

(発)

	16 インチ	8 インチ	5 インチ	計
7 月 14 日	802	728	1,035	2,565
8 月 9 日	803	1,392	586	2,781
計	1,605	2,120	1,621	5,346

※ 8 月 9 日、イギリス艦隊の使用砲弾数は不明

建物・人的被害

(戸 / 人)

	全 焼	半 焼・ 一部焼	全 壊	半壊・ 一部壊	死 亡
7 月 14 日	1,460	18	163	878	431
8 月 9 日	1,470	19	117	195	283
軍関係・捕虜					68
計	2,930	37	280	1,073	782

特集コンテンツ

- CHAPTER1 廃墟と化した鐵のまち
- CHAPTER2 体験者の声
- CHAPTER3 伝えるという選択

CHAPTER2 — 体験者の声 —

いま
現在だから語る私たちの記憶
未来へと託す平和への願い

望み続けた平和
終戦で感じた一筋の光



渡邊 佐一 さん (89)

悪い記憶は忘れようと、艦砲の記憶にはずっと蓋をし、あまり多くを語らずに生きてきました。ただ、東日本大震災を経験し「津波は逃げるができるが、戦争は自分で命を守ることができない」ということを感じ、私の記憶を伝えようと思います。私が戦争を体験したのは小学4年の時でした。当時は、今の鳥谷坂トンネルを上っていったところに監視所があつて、週に2回ほど兵隊に水を届けに行っていました。その日は朝から警戒警報が出ていたので、届けに行かなくてもいい日でしたが、友達と水を届けに行きました。すると、兵隊から「今から戦争が始まるから早く帰れ」と言われ、海側に目をやると三貫島の近くに艦隊が見えました。「戦争

はどこか遠くでやっているもの」と思っていたので、それを見たときは足がすくみました。その後、空襲警報のサイレンが鳴り響くと同時に、空母から1機の戦闘機が飛び立ち、市内すれすれを飛んできて、市役所（現在の只越復興住宅1号棟付近）に焼夷弾を落としていきました。それが合図のように艦砲射撃が始まりました。あちらこちらから上がった火や煙がまちに広がり、状況が見えなくなる中、山道を駅方面に走っていくと、製鉄所の煙突が崩れ落ちていくのを見ました。やっと攻撃が止んで山から下りると、まちは焼け野原になっていて、立ち尽くしたのを覚えています。

8月9日は、家を直すために使う釘を焼け跡から拾っていた時に艦砲にあいました。爆音が鳴り響く中、急いで家に逃げて、その惨劇が終わるのを待ちました。山へ逃げたものの、機銃掃射によって死んだ人もいました。子どもの頃から「戦争が終われば平和が来る」と親から言われ「平和」というものをよく知らぬまま望み続けてきました。8月15日。終戦の知らせをラジオで聞き、微かな光を感じたような気がしました。

戦争で感じた言い表せられない負の感情は、絶対に経験してほしくありません。昨日挨拶をしていた人が次の日には殺し合いをすることもあるのが戦争です。殺した側、殺された側、どちらも辛い思いをする。世界で戦争が無くなることを祈っています。



▲艦砲射撃前の中心市街地

思い出したくない記憶。消し去りたい記憶。
それでも次の世代に伝えることが意味を持つと信じて――。

今回は実際に艦砲射撃を体験した2人にお話を伺うことができました。
話から見たのは、年月が経っても消すことのできない当時の鮮烈な記憶。
体験者の声から2度の艦砲射撃の状況や平和への想いに迫ります。

静かに灯った光を胸に
戦争のない明日へ、声を残して



佐々木 郁子 さん (95)

このお話をするのは、これが本当に最後だと思っています。7月14日の5時頃、警戒警報が鳴って、看護師として働いていた私は、製鉄所病院（現在のマイヤ釜石店付近）に走りまわった。正午間近、敵機襲来の一報で、病院の敷地内にある防空壕へ50人以上の患者さんを避難させました。もう、無我夢中でした。「ビューーン！ガン！ドーン」鼓膜が破れそうな音が響き、海上からの砲撃が2時間くらい続いて、震えながら防空壕の中で耐えました。本当に惨めで、怖くて、今でもその音が耳に残っています。恐る恐る防空壕から出ると、鈴子町から大渡町が見渡せるほどで、散乱する死体も目にしました。

3日後、ようやく家に帰ると、母と再会でき「死んだと思ってたよ」と泣きながら抱きしめられ、私は涙が止まりませんでした。でも「また艦砲射撃が来るかもしれない」という不安が、心のどこかにずっとありました。患者さんの治療に使ったガイズを川で洗って干していたとき、機銃掃射に襲われ、命がけで走りました。本当は怖かったです。そういうことが1週間も続きました。そして8月9日、本当にまた艦砲射撃が来しました。生き地獄でした。

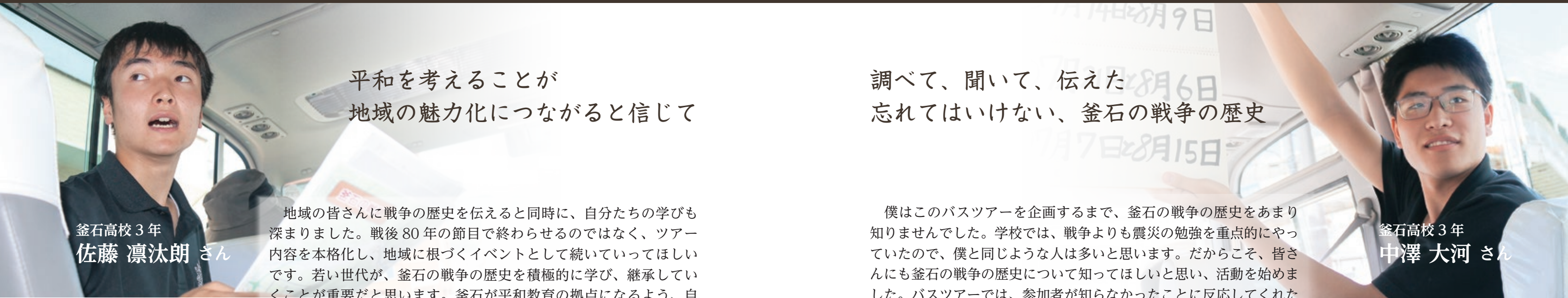
終戦の知らせを聞いたとき、心にぽつと明かりが灯った気がしました。「これで、本当に終わったんだ」と静かに実感しました。同時に、今までの生活を、もう一度取り戻すために、自分にできることをやろうと決意し、看護の仕事の続けながら、23歳で助産師の資格を取りました。元気に生まれてくる子どもたちを、しっかりと迎えられるように、寝る間を惜しんで勉強し、必死に知識と技術を身につけました。

戦争の記憶は、決して消えることはありません。今でも、あの日をおい出すと胸が苦しくなります。戦争は人災です。人の手で起こるものは、人の力で防ぐことができます。絶対に戦争はしてはいけません。人をおいやり、助け合う心を忘れずにいてほしい。

これから生きる皆さんには、どうか素晴らしい人生を歩んでほしいと心から願っています。



▲艦砲射撃前の製鉄所病院



釜石高校 3 年
佐藤 凜汰朗 さん

釜石高校 3 年
中澤 大河 さん

平和を考えることが 地域の魅力化につながると信じて

地域の皆さんに戦争の歴史を伝えると同時に、自分たちの学びも深まりました。戦後 80 年の節目で終わらせるのではなく、ツアー内容を本格化し、地域に根づくイベントとして続いてほしいです。若い世代が、釜石の戦争の歴史を積極的に学び、継承していくことが重要だと思います。釜石が平和教育の拠点になるよう、自分たちが中心となり若い世代に伝えていきます。

調べて、聞いて、伝えた 忘れてはいけない、釜石の戦争の歴史

僕はこのバスツアーを企画するまで、釜石の戦争の歴史をあまり知りませんでした。学校では、戦争よりも震災の勉強を重点的にやっていたので、僕と同じような人は多いと思います。だからこそ、皆さんにも釜石の戦争の歴史について知ってほしいと思い、活動を始めました。バスツアーでは、参加者が知らなかったことに反応してくれたり、逆に教えてくれたりしたので、より一層学びが深まりました。



①小川防空壕跡で、事前に学んだ体験者の声を引用し当時の状況を伝える ②嬉石^{ずいどう}隧道避難口で、体験者の声を引用し当時の状況を伝える ③薬師公園で高校生の説明に耳を傾け、高校生と対話する参加者



エローイ・リンダイヤさん

戦時中、釜石の捕虜収容所で生活していたオランダ人、エヴェルト・ヴィレム・リンダイヤさんの孫にあたるエローイ・リンダイヤさん

収容中の祖父が、音信不通の中で、家族に宛てた日記形式の手紙を書くことは、希望を持ち続けるための大切な手段でした。

祖母は亡くなる前、私の父に「日本の人々に対して憎しみを抱いたり、復讐を望んだりしてはならない。それは悲しみを長引かせ、新たな戦争

を生むだけだから」と言いました。

私が釜石にきた理由は、戦争の恐ろしさを忘れないだけでなく、勇氣と人間性を持ち、平和を深く願うことで、暗闇に立ち向かった人を讃えるためです。犠牲者への追悼と国同士の和解がずっと続くことを願っています。

釜石高校のゼミ活動で「地域の魅力化」をテーマに取り組む中で、釜石に残る戦争の歴史を発信するところが、地域への理解と平和意識の向上につながるのではないかと考え、市内の戦跡を巡るバスツアーを企画した中澤さんと佐藤さん。釜石は、二度の艦砲射撃を受けたまちであり、当時、捕虜収容所があったことなどから、被害と加害の両面から平和を考えることができる貴重な場所だと考えました。そして 7 月 21 日、参加者 20 人を乗せたバスが、まちに残る戦争の記憶をたどりました。

バスツアーでは、参加型にこだわり、参加者が実際に、小川防空壕跡に入り、五感で当時の様子を感じられるようにコースを工夫しました。さらに、普段はあまり知られていない嬉石^{ずいどう}隧道避難口は、住宅街の一角に残る戦跡であり、戦争を身近なものとして考えてもらえるよう、コースに組み込むなど、5 カ所の戦跡を案内しました。参加者からは「若い世代が戦争の歴史を伝えてくれて嬉しい。戦争の歴史はだいたい知っているつもりだったが、知らなかったことを学べた」といった声が寄せられました。イベントを終えた 2 人は、地域の持続的なイベントにしたいと今後を見据えました。

艦砲射撃を題材とした紙芝居の読み聞かせを行う颯・2000 のメンバー

被害者としてだけでなく、当事者として「戦争を起こしてはいけない」という視点を子どもたちには持ってほしいです。親の世代でも艦砲射撃の話題が出てくくなり、東日本大震災を経た今、戦争の記憶はさらに薄れています。だからこそ、伝えることが大切です。子どもたちだけでなく、親世代にも釜石の戦争の事実を知って欲しいと思います。



颯・2000
千葉 愛子さん

CHAPTER3 — 伝えるという選択 —

世代を超えて 語り継ぐ声 受け継ぐ想い

「戦争の記憶を風化させず、次世代へどう伝えていくかー」自らの足で戦跡を巡る高校生、紙芝居で子どもたちに語りかける人、そして異国から訪れた人の眼差し。世代を超えて、伝えることに向き合う人たちの声を届けます。

戦争を語る声が少しずつ遠のいていく今。

あの出来事を「知らない」で終わらせず、

このまちが歩んできた80年を、今一度見つめ直し

未来へと継承していくために、この特集を作成しました。

今、私たちは考えます。

記憶を受け取り、語り継ぐことは、

未来を守る力になるということ。

そして、今を生きる私たちの責任だということ。

毎日の平和も豊かさも決して当たり前ではありません。

今日という日を、何気ない日常として過ごせること。

それがどれほどの犠牲と、どれほどの祈りの上にあるのかを、

私たちは忘れずにいたいと願っています。

祈るだけでなく、忘れず、語り、受け継ぐこと。

それが、今を生きる私たちにできる、
たしかな平和のかたちであると信じて――。

釜石での結婚新生活を支援します

釜石市結婚新生活支援補助金



対象

- (1) 次のすべての要件を満たす人
 - 令和7年1月1日～令和8年3月31日までに婚姻届を提出し、受理された夫婦
 - 夫婦ともに婚姻日時点で満39歳以下
 - 夫婦の所得を合算した額が500万円未満
 - ライフプランセミナーを受講
- (2) 令和6年度にこの補助金を受給し、受給額が補助金上限額に達しなかった夫婦

補助金額

- (1)の夫婦の場合

婚姻日に夫婦どちらも満29歳以下	上限70万円
婚姻日に夫婦どちらも満39歳以下	上限30万円
- (2)の夫婦の場合 (1)の上限額から令和6年度の受給額を差し引いた額を上限

補助対象経費とライフプランセミナーの詳細は、市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 市オープンシティ・プロモーション室 ☎27-8463

釜石市防災メーリングリスト『げんさいくん』への登録をお願いします

市は、市民の皆さんの防災への関心を高め、地域の防災力向上を図るため、試験的に「釜石市防災メーリングリスト『げんさいくん』」での防災関連情報の配信を始めます。

配信内容

防災に関する各種イベント情報や研修案内、防災関連の最新情報（法令改正）、各地区での防災の取り組みの紹介など
※緊急情報（警報、注意報、避難情報、災害・事故の情報など）は配信しません。市公式LINEやいわてモバイルメールへの登録をお願いします

登録方法

①氏名②登録を希望するメールアドレス③防災士の登録の有無を記載し、市防災危機管理課代表メールアドレスまたは専用登録フォームからご登録ください。
詳細は、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ



代表メールアドレス



専用登録フォーム

問い合わせ 市防災危機管理課 ☎27-8441 ✉bousai@city.kamaishi.iwate.jp

大好評「夏を満喫！釜宴会キャンペーン」を追加実施します

割引期間 **8月25日(月)～9月30日(火)**

申請受付開始 **8月20日(水)13時～**

割引条件

対象店舗を2人以上で利用し、飲食代金が次のいずれかの場合

- ①1人当たり税込3,000円以上 → 1人当たり**1,000円割引**
- ②1人当たり税込1,500円以上（7～14時に入店） → 1人当たり**500円割引**

店舗を予約の上、利用の14日前から3日前までに申請が必要です。

※対象店舗や利用方法などの詳細は、釜石商工会議所のホームページをご覧ください

※キャンペーンの終了は、市と釜石商工会議所のホームページでお知らせします



詳細はこちら

問い合わせ 釜石商工会議所 ☎22-2434 / 市商工観光課 商工業支援係 ☎27-8421

入場無料

女子ラグビーワールドカップ2025イングランド大会 パブリックビューイング



抽選で30人に
記念タオル
プレゼント!

日本代表VSアイルランド代表

日時 8月24日(日)20時キックオフ
開場18時30分

場所 釜石市民ホールTETTO

日本代表VSスペイン代表

日時 9月7日(日)20時キックオフ
開場18時30分

場所 釜石市民ホールTETTO



飲食ブースの出店や、釜石ゆかりの元女子ラグビー日本代表選手と釜石シーウェイブス選手のサポートによるミニラグビー体験コーナー、ラグビー連携協定を結んでいる東大阪市の名産品プレゼント抽選会（8月24日のみ実施）もあります。



詳細はこちら

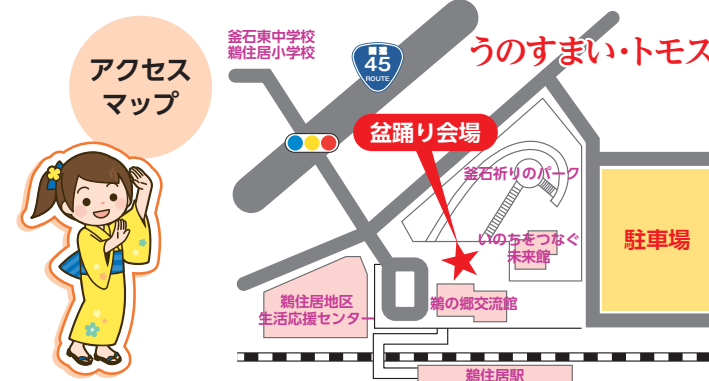
問い合わせ 市文化スポーツ課 ラグビーのまち推進係 ☎27-5712

鵜住居商店会 納涼盆踊り大会

餅まき（パンやお菓子もあり）や綿あめ無料サービス、キッチンカーなども出店予定です。
どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

日時 8月30日(土)17時～20時 小雨決行
(雨天などの場合8月31日(日)に順延)

場所 うのすまい・トモス広場



浴衣の無料レンタル＆着付けサービス

大人向けの浴衣の無料レンタルができます。お子さんは浴衣持ち込みの場合、着付けを受け付けます。
※浴衣の数に限りがあるので、予約をお勧めします

車で来場の方は、うのすまいトモス駐車場をご利用ください。

※バスロータリーへの駐車はできません
※駐車場や会場内での事故・盗難などには一切責任を負いかねます

浴衣・着付け予約先 寺前美容室 ☎090-8924-4841

申込不要

学校規模の適正化・適正配置に関する地域説明会

日時 8月23日(土)14時～

場所 イオンタウン釜石2階 イオンタウンホール

内容 ・釜石市の学校規模の適正化・適正配置の基本的な考え方
・釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画（案）の概要
（小中学校の統合計画、小中一貫教育の導入について）

対象 どなたでも

※釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画（案）について、パブリックコメント（意見募集）を9月1日(月)まで行っています。詳細は、市ホームページをご覧ください



意見募集はこちら

問い合わせ 市教育委員会 学校規模適正化推進室 ☎27-8496

第32回釜石市ふれあい福祉まつり

日時 9月6日(土)10時～14時 場所 釜石市民ホールTETTO

①物販会（お菓子、パン、手芸品・雑貨など）
②ステージ“OPEN AIR LIVE Welcome！Welcome！！”
かまいしこども園虎舞、正福寺幼稚園鼓笛隊、手話歌、フラダンス、バンド演奏
③作品展示会（釜石祥雲支援学校、すくすく親子教室他、数々の作品を展示します！）
④ポッチャ交流会&木工体験
⑤福祉活動PR展示
⑥赤い羽根共同募金街頭募金活動
詳細は、お問い合わせください。

どなたでも参加OK！

同時開催（同日・同会場）

◆ユニバーサルシネマ in釜石PIT（要予約）
主催 認定NPO法人 Plus One Happiness ☎21-1156
◆第9回かまいし百円市
主催 釜石まちづくり㈱ ☎22-3607

問い合わせ 第32回釜石市ふれあい福祉まつり 事務局（釜石市社会福祉協議会） ☎22-2310

市営住宅・復興住宅の入居者を募集します

受付期間 8月18日(月)～29日(金)（土・日を除く9時～17時）
申込方法 入居要件の確認が必要です。まずはお問い合わせください
※入居要件を満たす場合は、東日本大震災で被災していません、全ての復興住宅に入居できるようになりました
入居指定日 10月1日(水)
※この日に入居しない場合でも、家賃はこの日から発生します
その他 ・申し込み多数の場合は、抽選となります
・復興住宅には自治会などがあります

問い合わせ (一)岩手県建築住宅センター沿岸支所 ☎55-5742
(大町1-4-7 大町復興住宅4号棟1階)

入居者を募集する住宅

住宅名	階	募集戸数
大町市営住宅	2	2DK：1戸
野田復興住宅	2	3DK：1戸
上中島復興住宅1号棟	3	2LDK：1戸
上中島復興住宅2号棟	3	1LDK：1戸
上中島復興住宅3号棟	3	1LDK：1戸
大町復興住宅5号棟	2	1LDK：1戸
只越復興住宅1号棟	3	2LDK：1戸
只越復興住宅5号棟	2	2LDK：1戸
天神復興住宅	2	1LDK：1戸
天神復興住宅	5	2LDK：1戸
尾崎白浜復興住宅（戸建）	—	2LDK：1戸
唐丹片岸復興住宅（戸建）	—	2LDK：1戸
花露辺復興住宅	2	2LDK：1戸
小白浜復興住宅1号棟	2	1LDK：1戸
室浜復興住宅（戸建）	—	1LDK：1戸
鶴住居復興住宅1号棟	2	1LDK：1戸
鶴住居復興住宅2号棟	3	2LDK：1戸

個人情報を開き出す不審電話にご注意ください

行政機関や電話会社を騙った不審な電話に関する相談が寄せられています。
例えば、自動音声で「2時間後に電話が使えなくなります。オペレーターと話す方は1番を押してください」などと誘導され、1番を押すとオペレーターにつながり、名前や住所などの個人情報を聞き出すケースが確認されています。
行政機関や電話会社が電話を停止することに関して、自動音声やショートメールで知らせてくることは絶対にありません。

被害防止のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・・・
●個人情報絶対に伝えない
非通知や知らない番号からの電話は、詐欺の可能性がありますので慎重にしましょう。個人情報は絶対に伝えないでください。
●高齢者を見守りましょう
高齢者の消費者トラブルを防ぐためには、身近にいる周りの人が日頃から高齢者の生活や言動、態度などを見守り、変化にいち早く気づくことがとても重要です。遠くに離れて暮らしている場合でも、定期的に電話をして様子を伺い、不審な電話があった場合には、個人情報を伝えないように教えてください。
●不安に思ったとき、個人情報を伝えてしまったときは、すぐに消費生活センターか警察へ相談

市消費生活センター ☎22-2701 / 釜石警察署 ☎25-0110

15歳／21.4 生涯学習情報誌

デザイン：石ノ森章太郎
生涯学習のマスコット
“マナビィ”

まなびい 釜石

学びと実践が循環する生涯学習社会をめざして

令和7年
8月15日号 No.118
発行 市まちづくり課
生涯学習係
☎27-8454

令和8年 釜石市はたちのつどい

日時 令和8年1月11日(日)14時（受付13時～13時45分）
場所 釜石市民ホールTETTO
対象 平成17年4月2日～平成18年4月1日までに生まれた人

はたちのつどいにご協力いただける参加者を募集します

参加者の皆さんの中から、司会者と抱負発表者を募集します
◆司会者（1人）…………… 式典を進行していただきます。原稿は、市の担当者と一緒に検討します。
◆抱負発表者（1人）… 参加者を代表して、保護者や恩師への感謝の気持ちや、これからの抱負を発表していただきます。（応募多数の場合は、発表内容などをもとに選考します）
応募方法 メールまたはFAXで、住所・氏名・生年月日・電話番号・メールアドレス・勤務先または学校名・担当したい役割をお知らせください。
☎ syougai@city.kamaishi.iwate.jp FAX22-9505
応募締切 10月31日(金)
※司会者と抱負発表者は、式典前日令和8年1月10日(土)のリハーサルへの参加をお願いします

案内状の送付
11月1日(土)時点で、釜石市に住民登録をしている対象者に、12月上旬に案内状を送付します。
市外在住で、釜石市はたちのつどいへの出席を希望する場合は、市まちづくり課（☎27-8454）に電話でお申し込みください。

はなむけの言葉を募集します
保護者や恩師をはじめとした市民の皆さんから、はなむけの言葉を募集します。メッセージは会場に掲示する他、一部を式典で紹介します。
応募方法 住所・氏名・電話番号を明記し、持参または郵送してください。
〒026-8686 只越町3-9-13
釜石市市民生活部 まちづくり課 宛
応募内容 400字以内、形式自由 応募期限 11月28日(金)

あなたも民生委員・児童委員 ～地域の身近な相談相手～ になってみませんか

任期満了に伴う後任未定や欠員に伴い、現在、次の24地区で民生委員・児童委員として活動できる人を募集しています。
該当地区にお住まいで、民生委員・児童委員に興味のある人は、市地域福祉課までご連絡ください。
民生委員・児童委員になるには要件や審査があります。
任 期 令和7年12月1日から3年間（再任あり）
問い合わせ 市地域福祉課 ☎22-0177

民生委員・児童委員を募集している地区
・新浜町 ・浜町1丁目 ・浜町2丁目 ・浜町3丁目の一部
・只越町（復興住宅） ・大只越町2丁目の一部 ・大町2・3丁目
・大平町3丁目の一部（望洋ヶ丘） ・上平田ニュータウン北側
・上平田（平田1・2地割） ・下平田の一部（平田町1・3丁目、平田5・6地割）
・中妻町1丁目の一部（東側） ・中妻町1丁目の一部（西側）
・源太沢町1・2丁目の一部 ・甲子町7地割（関沢）
・野田町2丁目の一部（西側） ・定内町3丁目
・両石町第4・5地割（水海） ・鶴住居の一部
・片岸町1～9地割 ・橋野町中村・能舟木 ・唐丹町花露辺

主任児童委員（特に児童に関する問題に
対応する民生委員・児童委員）を募集している地区
・南釜石地区（平田小学区） ・鶴住居地区（鶴住居小学区）

13 2025.8.15 広報かまいし

広報かまいし 2025.8.15 12



水難救助に取り組む生徒たち

7月16日 【根浜海岸】

海が身近だからこそ備える 水難救助訓練

唐丹中の全校生徒が根浜海岸で水難救助訓練を行いました。用務員の三浦さんが所属する「根浜マインド」の全面協力で3年ぶり2度目の開催です。当日は、救難艇ウェールズ号とロープワーク、救助実習などが行われ、生徒は生き生きとした表情で体験に取り組みました。短い時間の中で海の事故への対処法を学び、生徒たちは「助ける人」への第一歩を踏み出しました。



委嘱を受けた大橋謙策さん（右）

7月17日 【釜石市民ホールTETTO】

釜石市地域共生社会推進アドバイザーを 委嘱しました

市は、地域共生社会の実現に向けて、包括的な支援体制の構築を推進しています。その一環で、社会福祉学者であり、我が国の地域福祉政策をけん引して来た第一人者である大橋謙策さん（(公財)テクノエイド協会顧問、日本社会事業大学名誉教授）に釜石市地域共生社会推進アドバイザーとして委嘱状を交付しました。今後、地域共生社会を推進するための助言とご指導をいただきます。



海水浴を楽しむ子どもたち

7月19日 【根浜海岸】

家族の笑顔が光る 根浜海岸海開き！

根浜海岸海水浴場が海開きし、朝早くから多くの人が海水浴場を訪れ、賑わいました。

当日は、SUPやシーカヤック、水上バイクなどのアクティビティの無料体験も行われ、夏を満喫する家族の笑顔があちらこちらに見られました。訪れた子どもたちは「楽しい！」「また来たい！」と目を輝かせていました。根浜海岸海水浴場は8月24日(日)まで開設予定です。



当時の体験と平和への思いを話す佐野睦子さん

8月3日 【釜石市民ホールTETTO】

戦後80年 平和の大切さを考え未来に伝えるために

「戦後80年 釜石と戦災～未来に伝えるために～」の講演会・パネルディスカッションが開催されました。講演会では、戦争体験者の佐野睦子さんや戦争当時、釜石捕虜収容所長を務められた稲木誠さんのお孫さんである小暮聡子さんなどが平和への思いを語りました。佐野さんは「平和な毎日がいつまでも続くように、平和の大切さ、ありがたさ、尊さを継承していきましょう」と平和への思いを語りました。

7月2-3日 【旧釜石鉱山事務所Teson】

鉄のまちを体感 市内中学生が鉄づくり体験

7月2日、3日の2日間、釜石東中1年生が鉄づくり体験を行いました。この体験は、令和4年から市内すべての中学1年生が体験しており、鉄のまち釜石の歴史やものづくりの面白さ、大変さを学ぶ機会となっています。生徒たちは図面だけを頼りに灼づくり、製鉄に取り組み、地域のものづくりに触れました。市内他4校も8～9月に体験する予定です。



苦戦しながらも鉄づくりに取り組む生徒たち

7月3日 【釜石市民ホールTETTO 他】

知りたい！見たい！聞きたいが叶った 中学生職業体験会

中学生が多様な職業を体験する職業体験会が開催され、市内すべての中学2年生が参加しました。市内外の全12の職種の中から生徒自身が体験したいものを4つ選び、体験しました。体験や見学を通して、さまざまな職業に対する知識を深め、働くことの目的や意義を考えました。参加している生徒は終始笑顔で、難しいと言いながらも懸命に取り組む姿が印象的でした。



本物の消防服の重みに驚く生徒たち

7月5日 【平田球場 他】

釜石を盛り上げる熱い戦い 2年連続東北大会出場！

市内で唯一の硬式野球クラブである釜石野球団が、第52回JAVA岩手県クラブ選手権大会兼第49回全日本クラブ選手権岩手県予選で準優勝に輝き、2年連続となる東北大会出場を決めました。主将の菊池健太郎さんは「地元開催で31年振りに決勝の舞台に立てたことをとても嬉しく思っています。東北大会でも釜石の力を全面に出せるよう頑張ります」と熱を込めました。



東北大会での活躍を誓う釜石野球団の選手たち

7月12日 【釜石市民ホールTETTO】

世界遺産登録10周年 今後の発信、活用の在り方を考える

「明治日本の産業革命遺産」が、世界文化遺産登録から10周年を迎え、記念式典とシンポジウムが開催されました。遺産が物語る価値を再認識しながら、今後の発信、活用の在り方を考えました。河合敦さんが基調講演の講師を務め、日本の近代化が短期間で成功した秘訣は教育環境が整っていたことにあると述べられました。パネルトークでは、積極的に地域に参画していくためには地域の歴史を知ることが重要であることが確認されました。



幕末から明治の産業革命について話す河合敦さん

文化財名 尾崎神社の^{ちゅうてつ}鑄鉄製宝剣 市指定文化財

制作年代 安政6年(1859)～万延元年(1860)

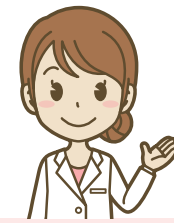
所在地 浜町3丁目(尾崎神社境内)

尾崎神社の鑄鉄製宝剣は、大島高任が安政4年12月1日(1858年1月15日)に日本で初めて鉄鉱石を原料とした高炉による連続出鉄に成功した大橋高炉(大橋鉄鉱山)で製作されたものです。

この宝剣には従事者たちの名が記されている点からも製鉄史上重要であるとともに、画期的な成功を証明する文化財としても大変貴重なものです。

台座に建てられたこの宝剣は目視できる部分で、高さ202.5cm、幅44.5cm、厚さ6.3cmとかなり大きく、刀身の一部に「奉納」、下部に「清岡澄」・「^{きよおかすみ}・^{とちないきゆうた}・^{ちゅうこう}・^{すずき ちゅうし}」と記されています。

清岡澄は、大島高任に従って大橋高炉を完成させた人で、その後砂子渡高炉なども建設しました。栃内弓太は盛岡藩家老^{かろうとちないよへえ}・^{かんどう せざえもん}の親戚で貫洞瀬左衛門の甥にあたります。鈴木忠七は盛岡で代々忠兵衛と名乗る鑄物師の7代目で、現在も老舗鈴木主善堂としてその技術が継承されています。

健康診査・肺がん検診を
追加実施します

保健案内板

【問い合わせ】市健康推進課 ☎22-0179

カムチャツカ半島付近を震源とする地震の影響により中止となった7月30日・31日実施予定分の健康診査・肺がん検診を追加で実施します。

日時 ①9月4日(木) 13時30分～15時、17時30分～19時
②9月5日(金) 9時30分～11時30分、13時30分～14時30分

場所 市民体育館
対象 令和7年度健康診査・肺がん検診を受けていない人

※対象者には、7月にオレンジ色の封筒で受診票を送付しています。持ち物はそちらをご覧ください

※被用者保険(全国健康保険協会、共済組合など)の被扶養者で健康診査の受診を希望される人は、保険証と保険者から送付された受診券をお持ちください

問い合わせ	国民健康保険の人	市市民課 国保年金係 ☎27-8479
	後期高齢者医療保険制度の人	市市民課 医療給付係 ☎27-8491
	生活保護の人	市健康推進課 ☎22-0179
	肺がん検診を受診希望の人	市健康推進課 ☎22-0179

かまとまちゃんは釜石市で
生産される加熱調理用トマトです！

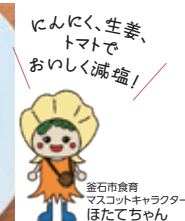
【減塩おすすめレシピ】

かまとまちゃんとひき肉の適塩ドライカレー

エネルギー：196kcal
食塩量：1.3g

材料名(4人分)

- 大豆水煮 40 g
- 合挽肉 120 g
- 玉ねぎ 1 個
- にんにく 2 かけ
- 生姜 20 g
- 人参 1/2 本
- 生しいたけ 2 枚
- じゃがいも 1 個
- トマト 100g
- ピーマン 2 個
- A 水 250ml
- チキンコンソメ 1 個
- カレールウ 20 g
- サラダ油 大さじ 1



かまとまちゃん(トマト)の効能

- 強い抗酸化作用で体を守る！
- ・赤い成分「リコピン」が紫外線からあなたを守ります。シミやソバカスを予防したり、美肌効果も♪
- うま味が強く、減塩に！
- ・トマト料理は少ない調味料で美味しく「減塩」につながります。
- ・煮込み料理にオススメです

作り方

- ①玉ねぎ、にんにく、生姜はみじん切りにする。人参はすりおろす。トマトとピーマンは一口大に切り、しいたけは、粗いみじん切りにする。じゃがいもは1cm角に切る。
- ②大豆水煮はザルに空けて水気を切っておく。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、にんにく、生姜を炒める。香りが出たら、合挽肉、玉ねぎ、人参を入れて色づくまでじっくりと炒める。
- ④さらに、しいたけ、大豆水煮、じゃがいも、トマトを加え、Aを加えて混ぜ、強火で煮る。煮立ったら火を弱めてふたをし、弱火で約5分～10分煮込む。
- ⑤ピーマンを加えてカレールウを溶かしながら混ぜ、汁気が無くなったら出来上がり。

問い合わせ 市健康推進課 ☎22-0179

「いつでも、どこでも、だれでも」

読書に親しめるまち かまいし

市長のおすすめ本

問い合わせ 市まちづくり課 ☎27-8454

『さぶ』

山本周五郎/著(新潮社)

江戸下町の表具店で働くさぶと栄二。男前で器用な栄二と愚鈍だが誠実なさぶは、深い友情で結ばれていた。ある日、栄二は盗みの罪を着せられる。怒りのあまり自暴自棄になり、人足寄場に流れ着く栄二。人間すべてに不信感を持つ栄二をさぶは忍耐強く励まし、支える。一筋の真実と友情を通じて人間のあるべき姿を描く時代長編。



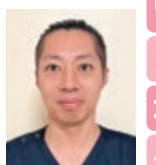
釜石市長 小野 共

どんな人間だって一人で生きるわけじゃない。多くの人の支えがあって何かを成し遂げる。

話の8割は「栄二」の描写です。しかし作者が本当に描きたかったのは「さぶ」でした。私は、それが嬉しくて、読み終わった後、本の題名を見て涙が出ます。「これだと思ったことに10年しがみついていると大抵ものになるものだ」という言葉が印象的です。

子どもの歯ぎしりについて
子どもの歯ぎしりの原因として考えられるのは、歯が生える際のむずがゆさ・歯や顎の位置を決める・永久歯が生えるスペースを確保する・噛み合わせのバランスをコントロールする・ストレスや睡眠不足です。このように、子どもの歯ぎしりは、顎の成長などに伴うもので、永久歯が生え揃うまでの歯ぎしりは、体に悪影響を及ぼすものではないため、心配ないことがほとんどです。顎の筋肉や関節に柔軟性があるため、歯ぎしりによる体への影響は出にくいですが、長時間の歯ぎしりやひどい歯ぎしりの場合、悪影響を与える可能性があります。日常でできる歯ぎしりの対策と予防法があります。正しい姿勢を心掛ける、よく噛んで食べる(柔らかい物ばかりでなく噛みごたえのある野菜などを食べる)、仰向けで寝る、ストレスを解消する、睡眠時間の確保など、日常で取り入れられそうなものがあるれば取り入れてみてください。

ただし、永久歯が生え揃っても歯ぎしりをしていて、歯や顎に痛みがある、歯の神経の炎症やぐらつきなどの症状が出ている場合は、顎関節症の原因となる事もあるので、心配なときは一度かかりつけ歯科医に相談してください。

釜石歯科医師会
福成 歯科医院
福成 玄

ワンポイントアドバイス



すこやかに（ ）は保護者名・敬称略

大字平田 堀内 海^{かい}里ちゃん(海希)

甲子町 佐々木 龍^{りゅう}ちゃん(陽美和)

小佐野町 猪又 陽^{はる}惺ちゃん(柊瑠)

おしあわせに（ ）は旧姓

大字平田

小林 大心さん・月さん（菊地）

鵜住居町

小川 大貴さん・雪乃さん（田中）

やすらかに（ ）は満年齢

大只越町 阿部 政太郎さん（85）

大平町 菊池 洋次さん（89）

中村 正一郎さん（96）

大字平田 及川 滝子さん（96）

濱名 善四郎さん（91）

中妻町 亀山 弘則さん（71）

上中島町 岩間 正志さん（77）

住吉町 板澤 武良さん（88）

甲子町 佐々木 忠治さん（74）

制野 宮さん（91）

多田 廣人さん（99）

小向 盛喜さん（82）

吉田 啓子さん（77）

佐野 敏雄さん（97）

野田町 小林 節子さん（90）

春日 洋子さん（78）

定内町 昆 秀子さん（93）

小川町 鈴木 ウエ子さん（88）

小佐野町 渡邊 亮子さん（98）

青山 博規さん（64）

鵜住居町 村木 弘子さん（90）

柿崎 マツ子さん（83）

唐丹町 齊藤 弘子さん（67）

青山 慶子さん（89）

板乗 ミツさん（100）

※お名前の一部を常用漢字に変換している場合があります

釜石市の人口と世帯（7月）			
男	13,566人	（－14人）	
女	14,797人	（+11人）	
合 計	28,363人	（－3人）	
世 帯	15,213世帯	（+7世帯）	
※（ ）は前月比			

野生きのこの取扱注意！！

市内から野生きのこを採取し販売することは食品衛生法違反となる恐れがありますので、絶対に行わないでください。ここ数年、オークションサイト・フリマサイトで出荷制限地域以外から採取された野生きのこの販売が多く見られ、特に「コウタケ」や「サクラシメジ」、「ムラサキシメジ」などの販売が確認されています。

また、これらの多くは「出品者」が放射性物質濃度検査を行わないまま販売している事例が見られます。

※万が一、基準値（100Bq/Kg）超過が判明した場合、出品・販売者に対して回収を命じる場合がありますとともに、その地域においては「マツタケ」や「ナラタケ」、「コウタケ」など、すべての野生きのこについて、出荷・販売目的での採取ができなくなる恐れがありますのでご注意ください

☎ 県沿岸広域振興局 農林部 ☎27-5524

休日当番医・薬局（9月）			診療時間 9時～17時 ※お昼休憩中は対応できない場合があります	
休日	曜日	当番医・当番薬局	所在地	電話番号
7	日	かまいしベイ眼科クリニック	港町	☎ 27-7311
		ツルハドラッグ釜石店	只越町	☎ 31-2268
14	日	釜石しょうけいクリニック	甲子町	☎ 27-8571
		アクト調剤薬局松倉店		☎ 27-7001
15	月・祝	堀耳鼻咽喉科眼科医院	只越町	☎ 22-1005
		パルム薬局		☎ 22-3353
21	日	神林医院	甲子町	☎ 23-6635
		中田薬局松倉店		☎ 23-1230
23	火・祝	小泉医院	中妻町	☎ 23-5157
		ハロー薬局		☎ 23-8455
28	日	道又内科小児科医院	大槌町	☎ 42-2500
		ひよっこり薬局		☎ 27-5220
休日当番歯科医（9月）			診療時間 9時～12時	
休日	曜日	当番歯科医	所在地	電話番号
7	日	やえがし歯科医院	大字平田	☎ 36-1182
14	日	山崎歯科クリニック	中妻町	☎ 23-1111
21	日	工藤歯科クリニック	大町	☎ 22-6480
28	日	おおつちじょうない歯科医院	大槌町	☎ 42-8418

お知らせ

Jアラート試験放送

日時 8月20日(水)11時頃

防災行政無線によるJアラートの試験放送を行います。※災害などの発生状況により、予告なく中止となる場合があります

☎ 市防災危機管理課 ☎27-8441

休日ごみ受け入れ

ごみの休日受け入れを試行的に実施します。お盆期間に出たごみなどを岩手沿岸南部クリーンセンターで直接受け入れます。

日時 8月23日(土)8時30分～12時、13時～16時30分

☎ 岩手沿岸南部広域環境組合事務局 ☎27-7020

宮古児童相談所巡回相談

日時 9月25日(木)10時～15時

場所 釜石いこいの家

申込期限 9月4日(木)

※必要に応じて心理学的判定を実施します

申し込み・☎ 市こども家庭課こども家庭センター ☎27-5505

イベント

釜石、大槌にゆかりのある音楽家によるコンサート 第24回ムジークアーベント

日時 8月24日(日)14時～

場所 釜石市民ホール TETTO ホールA

料金 前売700円、当日券800円

販売場所 釜石市民ホールTETTO

☎ 岩手県ピアノ音楽協会釜石支部 大久保 ☎27-2229

『THE YELLOW MONKEY 「Sparkleの惑星X -ネ申-」 PV 上映



愛知・ボトムラインで行われるライブを生中継で上映します。

日時 8月25日(月)19時～

場所 釜石PIT

入場料 3,500円



問い合わせ 申し込みフォーム

HUG（避難所運営ゲーム）体験学習

日時 8月29日(金)12時45分～14時35分

定員 15人程度

申込期限 8月25日(月)15時

申し込み・☎ 釜石商工高校 原田 ☎ptf16-tomoo-harada@iwate-ed.jp ☎22-3029

相談

事業承継無料相談会

岩手県事業承継・引継ぎ支援センターでは事業承継に関する相談を受けています。※ご希望の場所に訪問しての相談可

日時 9月9日(火)11時、13時、14時の事前予約制

場所 釜石商工会議所

申し込み・☎ 岩手県事業承継・引継ぎ支援センター ☎019-601-5079

●夜間納税相談

期日 8月28日(木)、29日(金)

時間 17時15分～19時15分

場所 市役所税務課

☎ 市税務課 ☎27-8417

●休日納税相談

期日 8月31日(日)

時間 9時～15時

場所 市役所税務課

☎ 市税務課 ☎27-8417

●今月の納税

市県民税 2期

国民健康保険税 2期

納期限 9月1日(月)

各種相談				
内 容	予 約	日 時	場 所	申し込み・問い合わせ
岩手県弁護士会 無料法律相談会	要	9月10日(水) 10時～15時	市消費生活センター	市消費生活センター ☎22-2701
人 権 相 談	要	9月5日(金) 13時～16時		宮古公証役場 ☎0193-63-4431
公 証 相 談	要	9月4日(木) 10時～12時		
法テラス弁護士 巡回無料法律相談	※前日に予約がなければ中止	9月3日(水) 13時～15時30分		法テラス気仙 IP電話050-3383-1402
年 金 相 談	要	9月18日(木) 10時～15時30分 ※要：基礎年金番号がわかるもの	青葉ビル	宮古年金事務所 ☎0193-62-1963

募集

「おやこの食育教室」 **参加無料**

メニューはお楽しみ♪

日時 8月30日(土)10時～13時

場所 青葉ビル 研修室1・2

対象 年長から小学生の親子

定員 10組（先着順）

持ち物 エプロン、三角巾、ハンドタオル、飲み物

申込期限 8月27日(水)

申し込み・☎ 市健康推進課 ☎22-0179

第43回「けいりょう」強調月間標語

普及啓発用の標語を県民の皆さんから募集します。

募集資格 岩手県在住の人

募集締切 8月29日(金)

☎ (-社)計量計測技術センター ☎019-639-0909

外国ひろば「ネパール編」

日時 8月28日(木)、9月4日(木)、9月11日(木) 全回18時30分～19時45分※料理教室を予定

場所 青葉ビル 研修室1・2

対象 ネパールに興味がある人、簡単な言語や文化を学びたい人

定員 15人

受講料 1,500円（全3回分）

※別途材料費を徴収します

申込締切 8月26日(火)

申し込み・☎ 市まちづくり課 ☎27-8454 ☎syougai@city.kamaishi.iwate.jp

市民百景

第20回

地球を旅した冒険家を選んだ

自然と共に生きる釜石の暮らし

一般社団法人 United Green 山田 周生さん



「地球の未来を考え、自分にできることは何か。これからどのような生活を送っていきたいのか。その答えを探すために、私は旅に出ました」そう語るのは、橋野町で自然と共生する暮らしを営む元冒険家・フォトジャーナリストの山田周生さん。

25歳でバイクにまたがり、サハラ砂漠を単独で走り抜けた山田さんの旅は、100カ国以上、地球約75周分にも及びます。世界の秘境や過酷な冒険レース、先住民の暮らしをカメラに収める一方、各地で進む環境破壊や砂漠化を目の当たりにし、地球の未来について考えたと言います。そこで、環境に対する意識が高まり、廃食油を燃料に変えるバイオディーゼルカーを自作して、化石燃料を使わない地球一周の旅に挑みました。CO₂を増やさない旅の道中で出会った多くの人や経験が、今の活動につながっていると話します。

2011年、東日本大震災の発生時には、日本一周の旅の最中で花巻市にいた山田さん。バイオディーゼルカーを活かして、物資配送や移動支援に奔走しました。あの時の経験から、釜石に根を下ろし、未来をつなぐ暮らしを作ろうと決意したと言います。

「釜石には、資源も人の力もあります。それを循環させて未来につなげたい」その山田さんの言葉に、このまちから新しい暮らしのあり方が生まれる予感がしました。



「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？市オープンシティ・プロモーション室（☎27-8463）または市のホームページからご連絡ください



昆 航太郎くん
(2歳)
元気いっぱい
お兄ちゃんと仲良くね



鈴木 ひいなちゃん
(2歳)
笑顔いっぱい元気いっぱい
に過ごそうね♡



吉田 伊吹くん
(2歳)
いっぱい食べて遊んで
大きくなろうね！



釜石市 LINE 【公式】



釜石市 X 【公式】



釜石市 Instagram 【公式】

